

一般助成 子どもの健やかな成長を願う事業(みちびき・はぐくみ)

## 『『チェンジの扉』を開いて、 本当の自分と世界とつながろう!』事業

### 閉塞感や将来への不安を抱えた日本の子ども・若者に 勇気や希望を持ってもらう機会を提供

インドやガーナで児童労働に苦しむ子どもたちの解放をサポートしてきた日本の国際協力NGOが、様々な生きづらさを抱え、将来に不安を感じる自国の子ども・若者のために、自らの著書を媒介にして、「自分と社会を変えることは可能」であることに気づき、勇気や希望をもって一歩を踏み出すための活動を行った。



札幌で開催されたトーク&ワークショップ事業には多数の若者が参加



### 人生や社会を自分の意志で築くことの 可能性やきっかけを感じてもらうために

1997年に5名の学生でスタートしたNPO法人「ACE」は、児童労働の撤廃を目指し、子どもの権利を守る活動をインド、ガーナ、日本で続けてきた国際協力NGOである。これまでインドやガーナで2,200人以上の子どもたちが児童労働から抜け出し、13,000人以上の子どもたちが教育を受けることで新たな人生を切り開くサポートをしてきた。

2018年には団体創立20周年を機に、「人生や社会を自分の意志で築いていくことは可能であり、そのきっかけは誰にでもある」というメッセージを込めた著書『チェンジの扉』(集英社)を出版した。この本は、自ら希望を取り戻し、人生を変えたインドやガーナの子どもたちの物語を中心に据えたもので、児童労働から抜け出し、教育を受けら

れるようになった子どもたちをはじめ、コミュニティを変革した大人たちのストーリーや、彼らの変化に触れたACEのスタッフたちがいかに自分の人生の意味や目的を再確認し、自らの変化に向き合ったかが綴られている。

同団体では、日ごろの見聞や意識調査などから、今の日本の子ども・若者たちは自己肯定感や課題に意欲的に取り組む意識が低く、何らかの生きづらさに直面し、将来に明るい希望を持ってない状況にあると判断。そこから勇気や希望をもって一歩を踏み出すための方策として、自分たちが著わした『チェンジの扉』を日本の子ども・若者たちに直接届け、それを一緒に開きながら、スタッフと参加者である子ども・若者たちが対話や気づきの共有を通して、自分の生き方ややりたいことのヒントを得たり、エンパワーし合えたりする場・機会を提供するためのトーク&ワークショッ

プ事業を企画した。これを全国でできるだけ多く実施するため、今回、AJOSCへ助成を申請することにした。

### 新型コロナウイルスの感染拡大に負けず 全国19ヵ所で若者のための事業を実施

トーク&ワークショップ事業が目標としたのは全国25ヵ所での開催、子ども・若者の参加者1,250名だったが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響などもあり、実際には19ヵ所、1,030名となった。ただし、他に大人が240名参加してくれたことで、こうした問題に対する大人の関心の高さがうかがえたという。「学校の授業や地域の活動との調整で、実施時期の調整に時間がかかったり、実施を延期したりするケースもありました。また新型コロナウイルスの感染が全国に広がってからは、さらに活動の中止・延期を余儀なくされ、目標とした遠方での活動を十分、行うことがで

きませんでした」と担当者は話す。それでも今年4月には、外出自粛や休校などにより家で過ごすことが増えた子ども・若者を対象に、書籍の無料配布とオンラインでのトークライブを2回実施したという。

参加者の感想として多く寄せられたのは、「誰でもチャレンジできるという言葉に勇気もらった」「一人でも多くの人が行動を起こせば、世界が変わる可能性が広がると実感した」「行動力を持ちたいと思った」「日本だけでなく、海外にも広い視野を持つ必要性を感じた」といった声だったという。同団体では、「本事業を通して、子どもや若者が自分の人生や社会の状況に対して悲観的になるのではなく、希望をもってよりよい人生や社会のために行動することの大切さを感じ、自分の生き方やこれからやりたいことへのヒントを得ることができたのではないかと振り返り、その意義を実感している。



函館で開催された『チェンジの扉を開く旅』を告知するチラシ



トーク&ワークショップ事業で発表を行う参加者

助成団体: 特定非営利活動法人 ACE

<http://acejapan.org>



### 全国各地の子ども・若者が生き方への気づきを得る機会に

当初計画した活動が十分にできなかったため、助成期間を延長していただき、大変ありがとうございました。一人ひとりの行動が自分の人生や社会を変えることにつながる、誰もがその力を持っているというメッセージは、新型コロナウイルス禍で外出自粛や学校休校などの影響を受けた子ども・若者たちにとって、より重要であると感じながら活動に取り組むことができました。

特定非営利活動法人 ACE  
事務局次長・子ども若者支援事業チーフ 成田 由香子さん